

令和7年度 練馬区幼保小連携研修会の実施報告

1 管理職対象

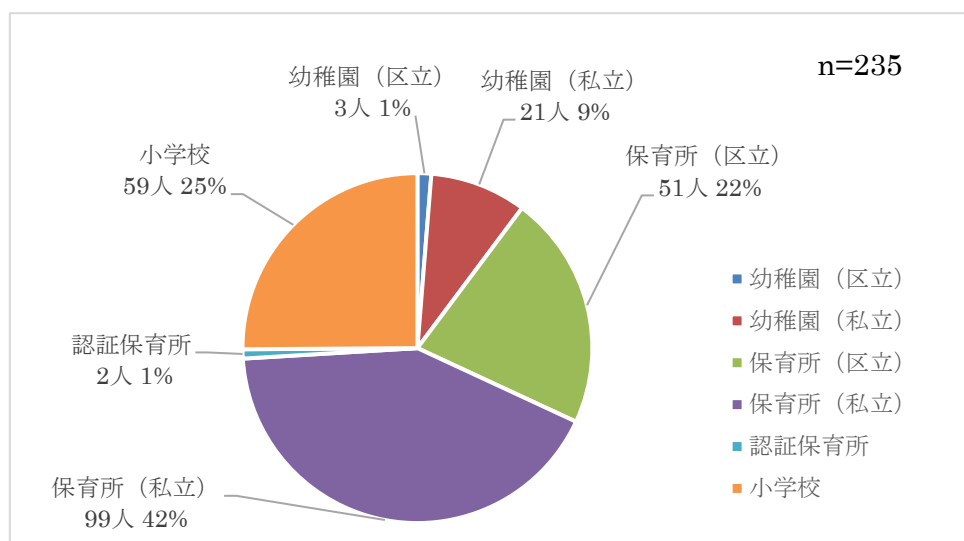
(1) 研修会概要

開催日 〔対象地区〕	令和7年6月 6日(金)〔豊玉・開進・練馬・光が丘〕 令和7年6月 13日(金)〔石神井・大泉〕
内容	1 講演 【主題】みんなで伴走し、育てよう！ねりまの子どもたち ～架け橋期の教育を考える～ 【講師】東海大学児童教育学部准教授 寶來生志子 ※ YouTube 配信（6/6 講演分）7月1日～8月29日 97回視聴 2 意見交換会

(2) 参加者数

(人)

施設種別	6/6	6/13	計 (A)	区内の 園校数 (B)	参加割合 (A/B)	6年度 参加割合	6年度 参加者数
幼稚園（区立）	1	2	3	3	100%	100%	3
幼稚園（私立）	10	11	21	38	55%	47%	18
保育所（区立）	29	22	51	59	86%	92%	55
保育所（私立）	49	50	99	148	67%	59%	88
認証保育所	0	2	2	17	12%	6%	1
小学校	26	33	59	65	91%	88%	57
計	115	120	235	330	71%	67%	222

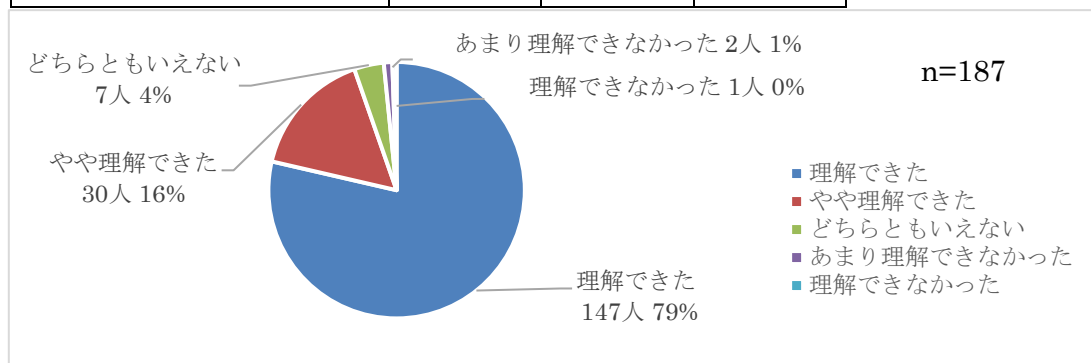


(3) アンケート結果

《講演について》

(人)

選択肢	幼・保	小学校	計
理解できた	116	31	147
やや理解できた	23	7	30
どちらともいえない	3	4	7
あまり理解できなかった	1	1	2
理解できなかった	0	1	1
計	143	44	187



《講演についての主な意見・感想》

幼稚園

- ◇学校探検の話は分かりやすく、具体的で良かった。
- ◇小学校の先生方と一緒に受講することで共有することができ、一緒に何か取り組んでいこうという気持ちになった。
- ◇新しいスタートカリキュラムへの理解が深まった。
- ◇幼児教育と小学校教育のつながりを、小学校の立場から分かりやすく実践を交えて話していただき理解が深まった。
- ◇幼児教育と小学校教育に関わる全教職員に聞いて欲しい内容だと思った。

保育所

- ◇とても楽しく、分かりやすく、自分も実践したいと思った。
- ◇講演で出ていたような学校が増えていって欲しいと心から願う。
- ◇保育園で大事にしていることを、これからも自信を持ってやっていこうと思えた。職員とも共有したい。
- ◇子どもの「なんで？」を子ども自身で見て、感じて、知る経験ができる環境というのはとても魅力的だと感じた。
- ◇實来先生の話に感動した。OECDのラーニング・コンパス、学びの羅針盤について、いつ教育業界が動くのかと思っていた。

- ◇「子どもに関わる全ての関係者が立場を越えて連携・協働する」「『困った子』ではなく『困っている子』と捉える」「不登校の子どもの言葉『あそこには、やらなきゃいけないことと、やっちゃいけないことしかない』」など、心に刺さることが多々あった。
- ◇私達大人が「子どもを信じて接していく」ことが求められているのを痛感すると共に、スピード感を持って行動しなくてはいけないと感じた。
- ◇教職員のスキルや理解、知識を高めていかないと幼保小の連携は難しいと感じた。
- ◇保育園が体験から学び、自己肯定感を上げて、非認知能力を高めていっても、学校では評価をされる以上、難しいのかなと思った。学校の現場を変えることはできないのかと考えてしまった。

小学校

- ◇講演で出ていた学校の授業の中で、1年生の生き生きとした姿が見られ、改めて大切なことは何かを思い出した。
- ◇子どもの主体性を高めることの大切さ、また、主体的な学びの具体的な実践を知ることができた。いくつか取り組んでいきたいと思う。
- ◇1年生の子どもたちが主体的に活動している姿を見て、驚くとともにこれまでの教育観を根本から変えていく必要があると感じた。
- ◇寶来先生の話に、頷くことばかりだった。特に今の教育は先にルールありきで子供たちのやりたい！という意欲を削ぎ捨ててしまっているのではと思った。後から振り返られるようにし、そこで気付けば良いのではないかという話は、今の教育に欠けている本質を突いた内容だと感じた。
- ◇理念理想はよく理解できるが、子どもの関心・意欲を育むことと授業規律を身に付けさせることの兼ね合いの難しさを感じた。

《意見交換会についての主な意見・感想》

保育所

- ◇色々な先生方の話を聞くことができて良かった。
- ◇近隣の先生方と率直な話をするのができ、良い機会だった。
- ◇また参加したいと思う。
- ◇校長先生と直接お話ができて、小学校側もウェルカムだということを知ったので、どんどん交流していこうと思った。
- ◇小学校でも子どもの主体性を育てたいが、先生によって子どもの主体性を重視する意識が異なるという課題があることが分かり、共感が持てた。
- ◇校長先生から、「集団である以上統制は必要で、教育的にも学習の評価をしなくてはならず、講演で出ていた学校のような授業はほぼ無理」と聞き、保育現場と学校現場とのギャップをますます感じた。

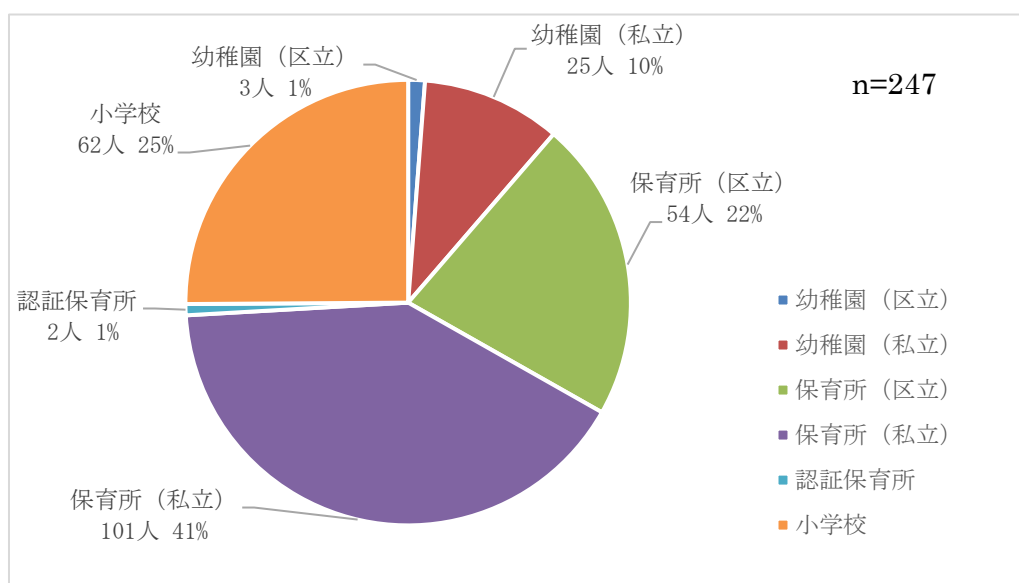
2 担任対象

(1) 研修会概要

開催日 〔対象地区〕	令和7年7月29日（火）〔豊玉・開進・練馬・光が丘〕 令和7年7月30日（水）〔石神井・大泉〕
内容	1 講演 【主題】 幼児教育と小学校教育の接続を考える ～共に育てるねりまの子どもたち～ 【講師】 武蔵野大学教育学部教授 箕輪潤子 2 意見交換会

(2) 参加者数 (人)

施設種別	7/29	7/30	計 (A)	区内の 園校数 (B)	参加割合 (A/B)	6年度 参加割合	6年度 参加者数
幼稚園（区立）	2	1	3	3	100%	100%	3
幼稚園（私立）	14	11	25	38	66%	55%	21
保育所（区立）	34	20	54	59	92%	87%	52
保育所（私立）	52	49	101	148	68%	65%	91
認証保育所	1	1	2	17	12%	6%	1
小学校	33	29	62	65	95%	95%	62
計	136	111	247	330	75%	71%	231

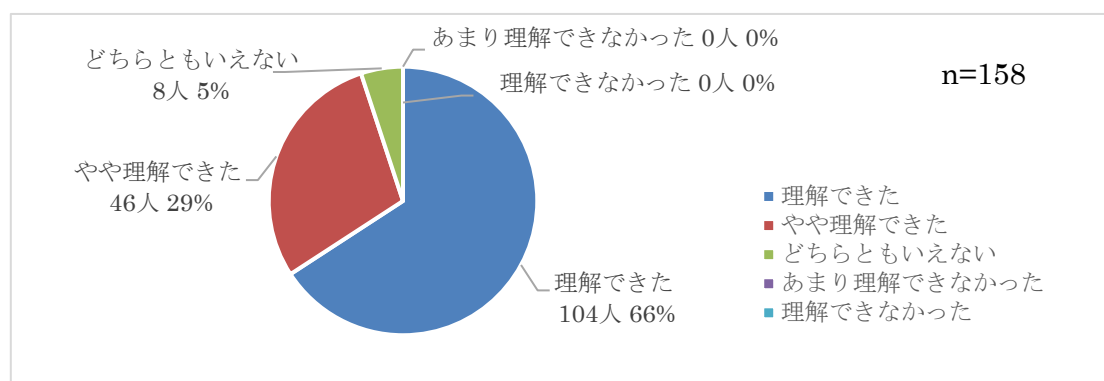


(3) アンケート結果

《講演について》

(人)

選択肢	幼・保	小学校	計
理解できた	81	23	104
やや理解できた	37	9	46
どちらともいえない	6	2	8
あまり理解できなかった	0	0	0
理解できなかった	0	0	0
計	124	32	158



《講演についての主な意見・感想》

幼稚園

- ◇講演の内容が分かりやすく、とても勉強になった。
- ◇幼稚園と小学校の教員で、要録の見方や子どもを理解する時の視点が違うことにとっても驚いた。
- ◇幼児期にはたくさんの経験をさせてあげることがいかに大切かを学ぶことができた。
- ◇就学に向け、どんなことをアプローチしたら良いのかを知ることができて、貴重な時間になった。

保育所

- ◇写真や事例が多く、分かりやすかった。
- ◇指導要録の見方が、幼稚園・保育園と小学校で違いがあることを知り驚いた。
- ◇限られた時間の中で分かりやすく、写真なども交えながら丁寧に、現場目線や思いも伝えてくださりありがたいと思った。
- ◇子どもとの関わりの中で、実際にやってみたい内容が多くワクワクした。
- ◇幼児期だからこそできる経験をたくさん積み、豊かな心の土台を作っていくことが大切なのだと改めて感じた。
- ◇就学に向け、どのような点を意識して保育していけば良いかを理解することができた。

小学校

- ◇幼稚園・保育園と小学校で、学びの評価や要録の見方が異なることを知り驚いた。
- ◇小学校生活への見通しを持てるように、幼稚園・保育園で指導してくださっていることを改めて実感し、ありがたいと思った。
- ◇とても分かりやすかった。幼稚園・保育園での経験や学びを小学校での学習につなぐように、実践に生かしていきたいと思った。
- ◇学びの多い講演だった。

《意見交換会についての主な意見・感想》

幼稚園

- ◇各園の取組や、小学校側からの疑問など、様々な意見が聞けて良かった。
- ◇小学校の先生と話す機会はなかなかないので、貴重な時間となった。
- ◇園に持ち帰り共有したい事項がたくさんあった。

保育所

- ◇近隣の園や就学先に含まれる小学校の方と、現場で困っていることや実践していることを共有できる場はなかなかなく、貴重な機会だった。
- ◇時間が足りないと感じるほど有意義な機会だった。
- ◇もっと時間が欲しいと思った。

小学校

- ◇幼稚園・保育園の先生と意見交換ができ、お互い理解が深まったと思う。
- ◇色々な園の方と一度にお話する機会がなかったので、貴重な機会の良い時間だった。
- ◇幼稚園・保育園の様子が分かったので、スタートカリキュラムに生かそうと思う。
- ◇交流に向けての挨拶もでき、受け持ちの子の園での様子も情報交換できて有益だった。
- ◇幼稚園・保育園の先生方が経験豊富で、たくましく子供たちに関わっていることが分かり、活発に意見交換ができ、ためになった。
- ◇幼稚園・保育園の先生から、小さい子は伝えても分からないので安全配慮をしたうえで体験をさせ、そこから体で覚えていくことを大切にしていると聞いた。大人になることを見据えて、大きく構えて、様々な体験をさせていることに考えさせられた。小学校でも、目先のトラブルを考えるのではなく、必要な力をつけることから考えて計画を立てたいと思った。
- ◇時間が足りなかった。
- ◇意見交換会で、小学校の教員が幼稚園や保育園を訪問することについての話が出た。他の自治体では、小学校の教員全員が分散して幼稚園や保育園の指導を見に行くことがあった。練馬区としてそのような取組は行わないのか。